



2020年1月30日

## 「MAZDA CX-8」が 2019 年国内 3 列シート SUV 販売台数 第 1 位 — 走りとデザインを両立した多人数乗用車として、2018 年に続き 2 年連続 —

マツダ株式会社(以下、マツダ)のクロスオーバーSUV「MAZDA CX-8」が、国内 3 列シート SUV<sup>\*1</sup> 市場における 2019 年販売台数第 1 位(23,288 台)<sup>\*2</sup>となりました。CX-8 が国内 3 列シート SUV 販売台数 第 1 位となるのは、2018 年に続き 2 年連続となります。



マツダ CX-8 「XD L Package」

CX-8 は、大人 6 名または 7 名が快適に乗車できる 3 列シートクロスオーバーSUV です。上質かつ洗練されたデザイン、意のままに操れる走りの良さ、優れた静粛性や乗り心地を兼ね備えたマツダの国内最上位クロスオーバーSUVとして、2017 年 12 月に発売しました。2018 年には、「卓越した運動性能と効率的な室内空間」、「運転負荷の軽減と先進の予防安全技術」などが評価され、「2018～2019 日本自動車殿堂カーオブザイヤー」を受賞しています。

2017 年 12 月の導入以降、多人数乗用車<sup>\*3</sup>でありながら、走りとデザインを両立したいと考える幅広い世代のお客さまから好評いただいております。導入以降も継続して商品力の向上を図っています。2019 年 10 月には、2 列目キャブテンシートに電動スライド&リクライニング機構やベンチレーション機能を装備し、2 列目シートの同乗者にもくつろいでいただける特別仕様車の「Exclusive Mode(エクスクルーシブ・モード)」を追加したほか、ライフスタイルに合わせて選べる 6 人乗りと 7 人乗りのシートタイプそれぞれに、ナッパレザー、レザー、クロスの 3 タイプの素材を選択可能としました。また、AWD 車には、さまざまな路面環境において安心・安全の走行性能を提供するオフロード・トラクション・アシストを採用しました。

先進安全技術においては「i-ACTIVSENSE(アイ・アクティブセンス)」<sup>\*4</sup>を標準装備し、安全装備を充実させており、経済産業省、国土交通省などが普及啓発を推進する「安全運転サポート車」の「サポカーS・ワイド」<sup>\*5</sup>に全機種が該当しています。また、2017 年度の JNCAP 自動車アセスメント<sup>\*6</sup> 衝突安全性能評価において、「衝突安全性能評価ファイブスター賞」を最高得点<sup>\*7</sup> で受賞し、同アセスメントの予防安全性能評価においても 2018 年度最高ランクとなる「ASV+++」を獲得するなど、衝突被害軽減から事故リスク低減まで、優れた安全性能が評価されています。

マツダは、クルマ本来の魅力である「走る歓び」によって、美しい「地球」と心豊かな「人」・「社会」を実現し、人の心を元気にすることにより、お客さまとの間に特別な絆を持ったブランドになることを目指してまいります。

以上

- 
- \*1 3列シートSUVとは、自販連区分ジープ型の四輪駆動車でワゴンとバン・トラックを含む(一部2WDを含む)国産車のうち、乗車定員6名以上の車種を指す。
  - \*2 マツダ調べ。
  - \*3 多人数乗用車とは、乗車定員6名以上の国産登録乗用車を指す。
  - \*4 人間を理解・信頼・尊重することを重視した中で、ドライバーが安全に運転できる状態を最大限に確保し、事故のリスクを最小限に抑制することを目指すマツダ独自の安全思想「MAZDA PROACTIVE SAFETY」にもとづき、開発したマツダの先進安全技術の総称。
  - \*5 安全運転サポート車のうち、特に高齢運転者の交通事故防止や被害軽減に効果が期待される技術を搭載した「セーフティ・サポートカーS」(サポカーS)の1つの区分。
  - \*6 JNCAP(Japan New Car Assessment Program)は、国土交通省と独立行政法人自動車事故対策機構(NASVA)が、安全な自動車の普及を促進する目的で、1995年度より公表している自動車の安全性能評価。現在市販されている自動車の安全性能について衝突安全性能および予防安全性能の評価結果を公表しています。
  - \*7 総合評価208点満点中、193.9点の評価で、2017年度の受験車中の最高得点を獲得。